

取扱説明書

トランスフォーマブル  TM
ビートル
PRESENTER MOUSE



製品概要及び特徴

- ▶ 本製品はマウスとレーザーポインター付プレゼンテーションリモコンの機能を併せ持つユニークな製品です。
- ▶ 充電方式なので電池交換は不要です。
専用ケーブルでUSBポートから充電できます。
- ▶ マウス操作、リモコン操作はRF無線によるワイアレス方式です。
- ▶ レシーバーは製品内部に収納できますので持ち運び移動に便利です。

仕様概要

- マウス制御方式 : オプティカル・マウス
- ワイヤレス制御距離 : 最大10m
- レーザーポインター : 赤色
- 電 源* 充電方式 : 単4型NI-MH(ニッケル-水素)
2次乾電池×2本

動作環境

- USBポートが2ポート以上あるパソコン

- ①レシーバー用、②本体充電用

* 充電時にレシーバーをUSBポートから抜いて充電用ケーブルと差し替えて使用すると、1ポートでも使用可能です。

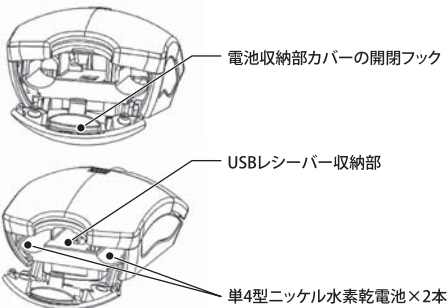
- オペレーティング・システム:Windows 2000, XP, Vista.
Macintosh OS X 及び上位OS。

* Macintosh: プレゼンテーション・モードでのご使用時はWindows OSにおけるF5/Esc機能(スライドショーの開始・解除)機能は無効です。
また、アプリケーション・スイッチ機能(Alt+Tab key)は、MacintoshにはAltキーが無いため無効です。

同梱品

- 本体
- USBレシーバー*本体の電池収納部に収納
- USB充電用専用ケーブル
- 2×単4型 ニッケル-水素二次乾電池*充電タイプ
- 取扱説明書
- キャリングケース

電池のセット



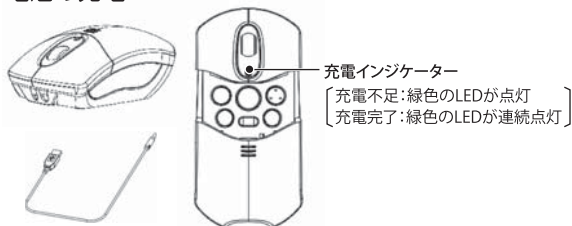
- 本体端面にある電池収納部カバーのフックを下に押し下げてカバーを開けてください。
USBレシーバーも電池収納部に収納されています。
本商品を持運ぶときはレシーバーをこの電池収納部にセットしていただければ紛失いたしません。
- 同梱品の電池2本を電池スロットにセットしてください。
このとき必ず電池の(+)、(-)の向きをご確認の上セットしてください。
- 電池のセット後、電池収納カバーを必ずきちんと閉めてください。



注意!

- 一般のマンガン乾電池およびアルカリ乾電池は決してご使用にならないでください。本商品に付属の充電型ニッケル水素乾電池をご使用ください。
- 交換が必要なときは、必ず単4型充電型ニッケル-水素乾電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜてご使用にならないでください。

電池の充電



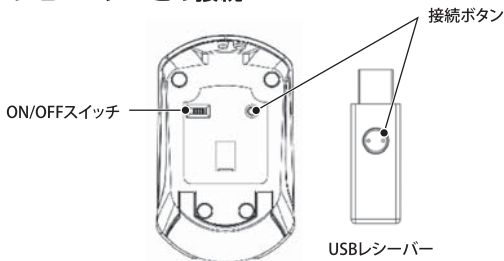
- 初めてご使用になるときは電池をフル充電してお使いください。尚、充電中でもマウス機能は使用可能です。
- 付属の充電用ケーブルの片側をUSBのポートに差込み、反対側を本体の先端にあるソケットに差し込んでください。
- 本体の緑色LEDが点滅しているときは充電中です。連続点灯になると充電完了です。
- 最初にご使用のとき電池は未充電です。そのときの充電時間は約6時間で約20時間使用可能です。その後の充電時間は電池の残量によります。
- 本製品はパワーセーブモード機能を持っています。約10分間ボタン操作を行わないと電源は自動的にシャットダウンされます。(※スリープ・モード) その後操作を再開するときはマウスの右ボタンか左ボタンをクリックしてください。
- 本体とコンピューターを付属のケーブルで接続してください。
* 電池がフル充電状態ではなく、充電中でも操作可能です。その際は本体の裏側にあるPowerのスライド・スイッチをONの位置にセットしてください。



注意!

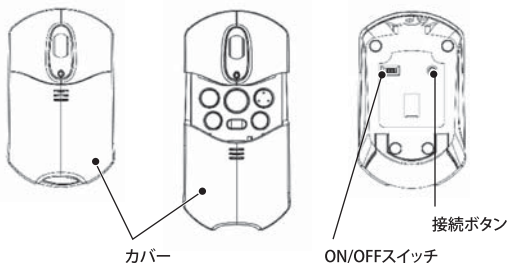
電池を充電するときはコンピューターの“コントロール・パネル”の“電源管理オプション”のプロパティから電源の自動休止機能を無効にしてください。

コンピューターとの接続



- 本体の電池収納部にセットされているUSBレシーバーを抜き出して電池収納部のカバーをかならずきちんと閉めてください。
- USBレシーバーをコンピューターのUSBポートに挿入してください。
- 初めてご使用のときはコンピューターが“新しいハードウェア”の認識処理を行います。この処理が終わるまでしばらくおまちください。この間、特別な操作は不要です。
- レシーバーと本体との通信のためのチャンネル・コードはあらかじめ工場出荷時に設定済みです。
- 万一何らかの理由でマウス機能が操作できなくなったとき、例えば、カーソルが動かない、極端に遅いなどの場合、他の電波機器による干渉によることが考えられます。このようなときはコンピューターのUSBポートに挿入している状態でUSBレシーバーの接続ボタンを押し、次に本体の底にある接続ボタンを押してください。これにより干渉電波とは異なるチャンネルを設定できます。一度で解消できない場合はこの操作を繰り返して行ってください。

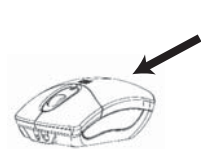
使用方法



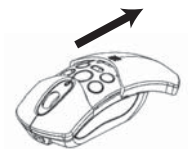
マウスとしての使用方法

—上図のスライドカバーはきちんと閉じておいてください。

- マウス機能は以下の3つの機能です。
 1. 右クリック
 2. 左クリック
 3. スクロール及び連続スクロール
- マウス機能は電池の消費を減らすため、約10分間使用しないと自動的にスリープ・モードになります。どこかのボタンをクリックすることにより再起動します。



マウス・モード
(スライドカバー:閉)

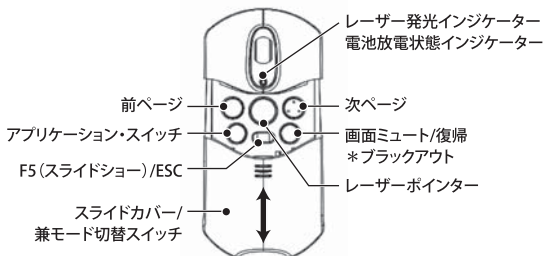


プレゼンリモコン・モード
(スライドカバー:開)

プレゼンリモコンとしての使用方法

一左図のスライドカバーを開きます。

- 上カバーの上部を両手の親指で軽く押さえながら、上カバーが止まるまでマウスの後端側へ滑らせて開けてください。
決してそれ以上無理にずらさないでください。
- 上カバーを開くと自動的に開いたことを検知してプレゼンリモコン・モードになります。
この時点でマウスの光学センサーはOFFになり、マウス機能は働かなくなります。
マウス機能に戻りたいときは上カバーをスライドして閉じてください。
- プレゼンリモコンとしての機能はレーザーポインター機能の他、5つの機能を持っています。
尚、マッキントッシュ・パソコンの場合は以下のようになります。
*マック OS: ウィンドウズOSの場合の、“F5キー”(スライドショーへの切替)と“アプリケーション切替のための(Alt+Tab)機能はサポートしていません。(MacにはAltキーがありません)



操作のヒントとトラブルシューティング

- ご使用になる前に本体の底面にあるスイッチがONになっていることをご確認ください。
- 本製品を持運ぶときは電池の消耗を避けるために、このスイッチをOFFにしてください。
- 長時間で使用にならないときは電池を取り出しておいてください。
- オプティカルマウスの使用は、無反射で白色ではない表面状態が最適です。
- カーソルの動きが遅い場合はマウスパッドのご使用をお試しください。
* コンピューターのコントロール・パネルからマウスのプロパティの設定についてもご確認ください。
- マウスカーソルの動きが不安定なときは電池の充電状態を表示するLEDインジケータをチェックしてください。もし緑色LEDが点滅状態であれば充電不足です。「電池の充電」の項を参考にしてください。
またレシーバーのUSBポートへの装着がゆるんでいることも考えられます。再挿入してご確認ください。
- 本製品を持運ぶときはスライドカバーがきちんと閉められていることをご確認ください。
またUSBレシーバーを忘れずにレシーバー収納部にセットして持運びください。

製品に関するお問合せ

製品に関するお問合せは下記へお願いいたします。

SMK 株式会社

〒142-8511 東京都品川区戸越6-5-5

TEL: 03-3785-1237

<http://www.smk.co.jp>